

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

**1. 文字処理****1.1 基本**

[問 1] (各 1 点)

[a] キ

[b] イ

[c] ナ

[d] ニ

[e] ケ

[f] ス

[g] コ

[h] テ

[問 2] (2 点)

char a;

a='A';

[問 3] (2 点)

char hoge[10];

sprintf(hoge, "Akita");

[問 4] (2 点)

char fuga[10];

sprintf(fuga, "秋田");

他には、  
strcpy(hoge, "Akita");他には、  
strcpy(hoge, "秋田");**1.2 入出力**

[問 1] (各 1 点)

[ア] getchar

[イ] gets

[ウ] scanf

[エ] fgtec

[オ] fgets

[カ] fscanf

[キ] putchar

[ク] puts

[ケ] printf

[コ] fputc

[サ] fputs

[シ] fprintf

**1.3 標準ライブラリ関数**

[問 1] (2 点)

#include &lt;ctype.h&gt;

[問 2] (2 点)

#include &lt;string.h&gt;

## 2. 関数

### 2.1 基本

[問 1] (3 点)

一連の処理をまとめにして、名前(関数名)で呼び出せるようにしたものを作成する。このようにすると、関数は大きなプログラムの部品と考えることができる。

[問 2] (3 点)

関数には、以下のようなメリットがある。

- ・処理の流れが分かりやすいソースプログラムを書くことが出来る。
- ・同じような処理をひとつにまとめることができる。

[問 3] (3 点)

ひきすう

[問 4] (3 点)

main 関数

[問 5] (3 点)

コンパイラに関数の引数と型と個数、それから戻り値の型を知らせる役割がある。そうすることにより、プログラム中の関数の使い方の間違いを事前に検出できる。

### 2.2 プログラムの書き方と動作

[問 1] (10 点)

右のプログラム中に、すべての

- ・プロトタイプ宣言
- ・関数の呼び出し
- ・関数の定義

の行を示せ。

[問 2] (ア 5 点, イ～カ 各 2 点)

[ア] 146524653

[イ] 1

[ウ] 2

[エ] 3

[オ] 4

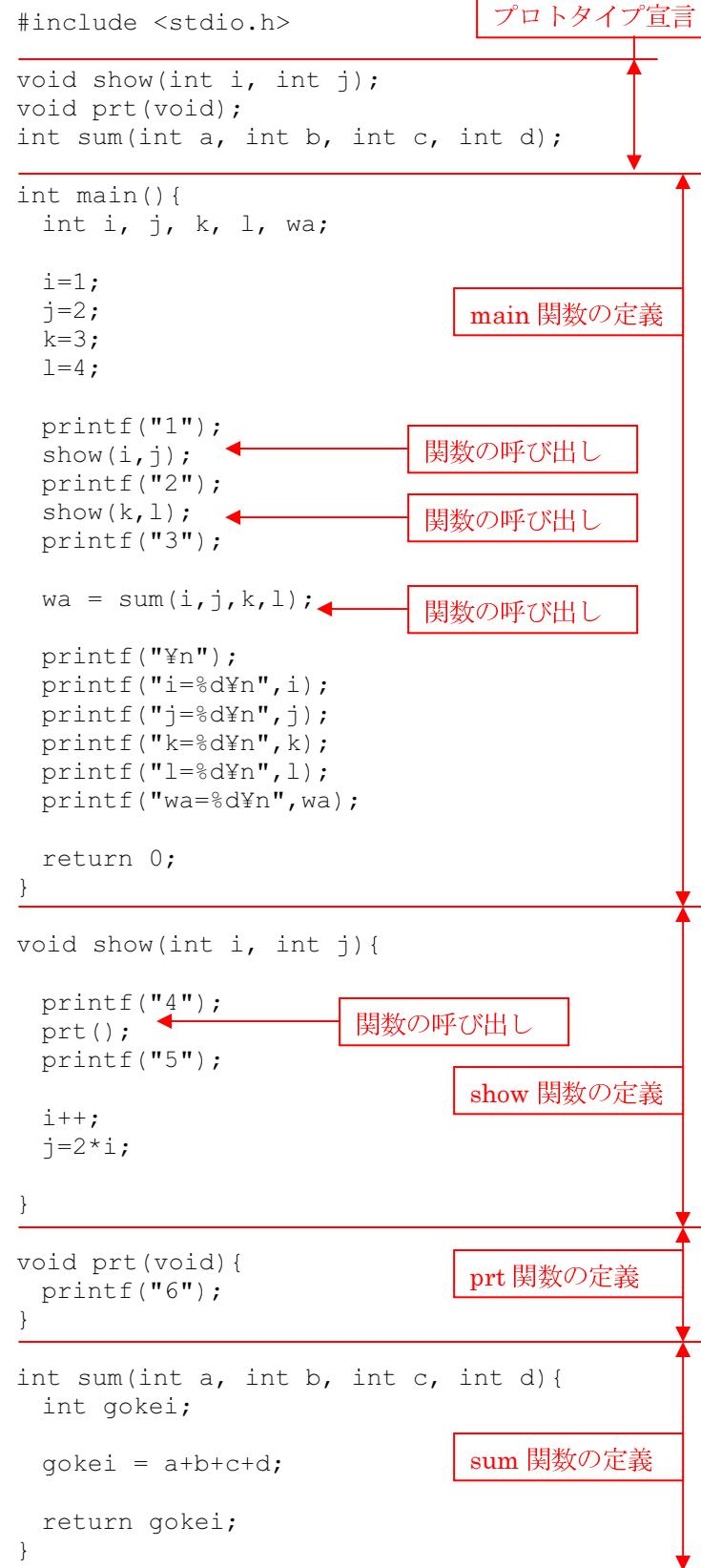
[カ] 10

[問 3] (2 点)

値渡し

[問 4] (2 点)

参照渡し



関数の呼び出しは、プログラマー作成の関数のみ。標準の関数は対象外とする。

### 3. プログラムの作成と誤り探し

[問 1] (20 点)

[問2] (3点)

- 戻り値に問題あり
    - プロトタイプ宣言では、double
    - 関数の定義の文では、int
    - 実際の戻り値は、1.5 と double または float

[問3] (3点)

- ・戻り値が void と指定されているのに、return で i を返している。
  - ・scanf で &temp に対する変換指定子がない。
  - ・return のつづりが違う